

自 己 評 価 書

平成25年1月18日

学 校 名	美祢市立桃木小学校		
校 長 名	校長 來嶋 純子		
自己評価実施日	前回実施日 平成24年7月18日	今回実施日	平成24年11月26日
回 収 率	児童・生徒 7名 100% (7/7)	教 職 員	7名 100%
	保 護 者 6 世帯100%	地域住民	16名/20名 80%

教 育 目 標		ふるさとに誇りをもち、心豊かにたくましく生きる子どもの育成			
重点目標	重点目標	① 学ぶ意欲と確かな学力の育成 (知)	② 健やかな生活習慣の育成 (体)	③個性や創造性の伸長と豊かな心の育成 (徳)	
数 値 目 標 (P 計画)		<ul style="list-style-type: none"> 重点目標肯定率90%以上 児童の学習への肯定率90%以上 家庭学習時間毎日平均 学年×10分以上 CRT 全国平均以上 	<ul style="list-style-type: none"> 重点目標肯定率90%以上 毎月の「生き生き生活チェックカード」による健やかな生活習慣の定着 体力づくり自己目標達成 	<ul style="list-style-type: none"> 重点目標肯定率90%以上 毎朝の児童・教職員・地域へのあいさつ運動奨励 年3回の教育相談と日々の迅速な課題解決 	
1 取組の状況 (P 計画) (D 実践)		<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上を目指した授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ・「教えて考えさせ定着させる授業」を目指した授業改善 ・算数科の自己解決力を目指した校内研修の充実 ・活用問題に取り組むいきいきタイム ○学習習慣確立への取組 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の推進 ・読書指導と家読書の推進 (チャレンジ目標お気に入りの本をふやそう) 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力づくり <ul style="list-style-type: none"> 1学期一輪車 2学期持久走 3学期縄跳び 休み時間の遊びの工夫 (チャレンジ目標 みんなと仲良く元気に遊ぼう) ○健やかな生活習慣の徹底 ○栄養士による食育指導 ○安心安全の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・一斉下校時のKYT学習 ・安全点検・避難訓練・学校保健委員会・応急防災計画見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・家庭・地域を基盤とした心の通い合う人間関係づくり ・毎日のあいさつ運動 (チャレンジ目標 元気なあいさつで心を伝えよう) ・地域とのふれあい活動の推進 (学校拠点型の放課後子ども教室との連携) ・豊田前小学校との交流学习 ○教育相談の充実 ○ 小中連携によるキャリア教育の推進 	
2 目標の達成 (C 評価)	肯定率	教職員80.0% 保護者 100%	教職員80.9% 保護者 100%	教職員92.9% 保護者 100%	保護者 100%
	数値目標の達成状況	生徒 82.4% 地域 100%	生徒 95.2% 地域 100%	生徒 100% 地域 100%	
		目標とする90%は達成できなかった。教職員・児童の肯定率が昨年度より下がったが保護者・地域の肯定率が高い。	体力作りは運動会の一輪車の練習をがんばり、チャレンジ目標も達成している。給食指導や安全への指導も効果を上げている。保護者・地域の肯定率が高い。	運動会後、あいさつの声が大きくなった。問題への迅速な対処への肯定率も高い。児童の気持ち理解や教育相談の取組に力を入れる必要がある。	
3 取組の適切さの検証結果 (C 評価)		<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が同じ方向で取り組んだ結果「教えて考えさせ(定着させる)授業」改善が深まった。 ・家庭学習や読書の習慣確立のため働きかけをしている特に委員会活動でおすすめカードの数をほめている。しかし、今ひとつ自主的な取組は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ目標では児童一人ひとりの仕事の負担も多く昼休みに遊べないこともある。 ・生活、食育習慣、安心安全への取組は年間計画に沿ってきっちり行われ、児童にも意識化されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々との交流の機会は多いが自主性や感謝の気持ちが育っていない。 ・豊田前小学校との交流学习は形式のとらわれず互いの良さを学び合うことができた。 ・いじめアンケートを月2回にしたことで、児童の心の様子に綿密に気を配る体制をとられた。 	
4 改善方策 (A 改善)		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き授業改善を推進するとともに「定着させる」ための工夫に取り組む。 ・予習を取り入れた授業を工夫するとともに、一人学びのスキルや習慣を身につかせ、家庭学習に結びつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団での遊びや体力作りは小規模のため難しい。一人でもできる遊びや体力作りを中心にめあてを持たせて自主的な取組を促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・奉仕活動を取り入れ、進んで周囲に働きかけていく体験をさせる。 	
重点目標以外の気づき		<ul style="list-style-type: none"> ・冬期の通学の服装が厚着なので薄着の励行を推進したい。 ・家庭の生活習慣に教師がどのくらい指導を行ってよいか迷うことがある。 			
学校関係者評価に必要な資料		○学校要覧 ○重点目標の数値目標 ○アンケート集計表 ○自己評価シート			